11 月 25 日（土）錦秋の鎌倉を歩く

大貫先生の今年最後の歴史ウォークは鎌倉の紅葉スポットの天園を楽しむウォークは天候にも恵まれスタートです。

鎌倉駅東口 鎌倉宮 永福寺跡 獅子舞 天園（昼食） 白山神社
大船駅（解散）10：00 ～ 15：30　約 6 k m

永福寺跡

鎌倉駅からバスで鎌倉宮で下車し 5 分ほどで永福寺跡につきました。
頼朝が奥州征伐で藤原氏の毛越寺や中尊寺をみて、永福寺の建立を思い立ち、二階大堂、大堂寿院を模して永福寺を立てたとされている。鶴岡八幡宮、勝長寿院とならんで鎌倉の三大寺社の一つであった。二階建て（実際は一階）であったから二階堂とも称された。
以前に訪れた時より広大跡地が整備・未発掘が良く整理されていました。国の史跡として基壇、庭園の復元がこれからも続けられようです。二階堂の本尊は釈迦如来（現世）、阿弥陀堂の阿弥陀如来（来世）、薬師堂の薬師如来（来世へ伝える）と併せて三尊を祀る寺院でした。永福寺をあとにし鎌倉のハイキングコースにもなっている天園に向かい途中獅子岩などを見ながら一時間ほどで大平山の頂上について昭和の初から開いている茶屋でお弁当持参の昼食を楽しくとりました。
今年は気候の関係か？紅葉はまだすこし遅れているようでしたが、趣のあるハイキングコースでした。
昼食後は舗装された坂を下り 30 分ほどで今泉称名寺（今泉不動）につきました。

獅子岩 (鎌倉の守護神狛犬？)

称名寺（今泉不動）は鎌倉アルプスの中腹にあり、豊かな山々に囲まれおよそ 1200 年の昔、空海によって開かれたといわれます。境内入口の六地蔵の先に珍しい一本の古木があり、木の空洞になった洞から一本の竹が共生するかのように生えておりました。境内は称名寺の本堂はご住職が体調を崩されているとのことで拝観は出来ませんでしたが、今泉不動尊、弁天堂、陰陽瀧などがあります。今泉不動は称名寺本堂の先の 200 段余の階段を上るとあるのですが、ハイキングコースで少し足にきており、今回は不動の瀧（瀧と不動石仏）をみて今日最後の白山神社へ。

今泉の瀧（陰陽の瀧）

頼朝が上洛の折、鞍馬寺に詣で、行基作の毘沙門天立像の一体を賜り、鎌倉の白山神社に安置した。明治の廃仏毀釈により毘沙門堂が白山神社になりました。
神社の大注連縄はムカデをかたどった注連縄で一月に大注連縄祭が行われています。注連縄の下につるされた縄はムカデの足を象り、百足は益虫で田や畑の虫を駆除してくれ、一年注連縄が切れなければ豊作の年になるといわれております。
以前はもっと大きな注連縄でしたが、近年田圃は少なくなり藁を大量に集めることが出来なくなり、近隣のお一人が大注連縄のために稲を作られていることでした。
時代の流れでやむを得ないのかも知れませんが、寂しいことです。
白山神社のバス停から大船駅に戻り今日の歴史ウォークは楽しく無事終了です。

今泉称名寺 本堂

白山神社

白山神社 大注連縄